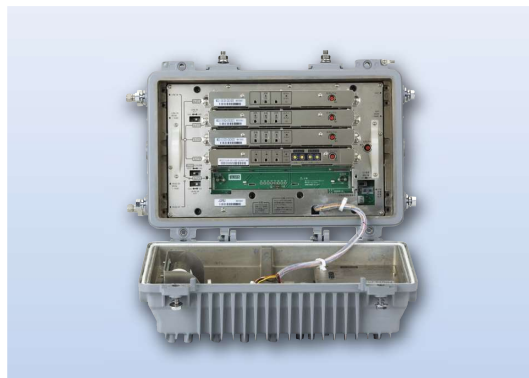


屋外型OFDMマルチチャンネルプロセッサ

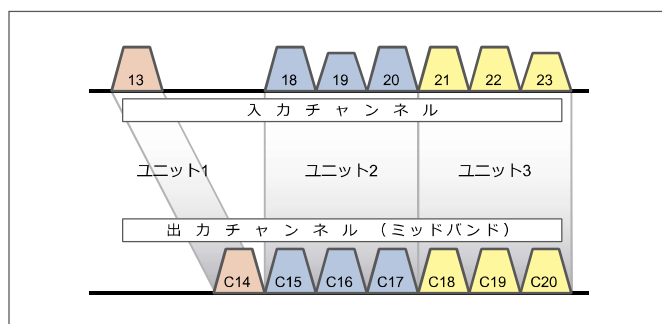
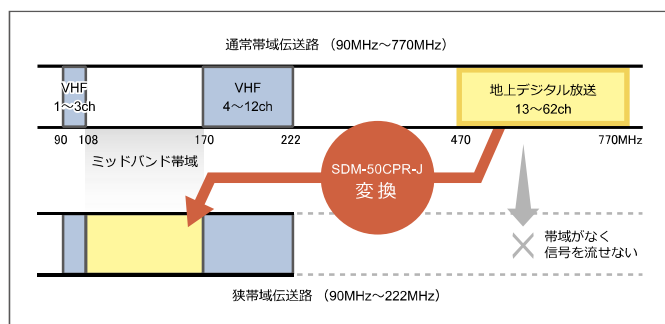
SDM-50CPR-J

小型・省電力・低価格！狭帯域共同受信施設でも地上デジタル放送が見られます

- 地上デジタルテレビジョン放送信号のパススルー伝送方式に対応した屋外型OFDMマルチチャンネルプロセッサで、共同受信施設に地上テレビジョン放送の再送信サービスが可能になります。
- 同一周波数パススルー方式のほか、周波数変換パススルー方式にも対応しており、UHF帯の伝送ができない狭帯域施設ではミッドバンドおよびVHFチャンネルを使った再放送サービスが可能です。
- 全チャンネルの出力レベルはAGC回路により一定に保たれます。
- 2系統の入力端子を備え、最大5つのコンバーターユニットを実装できるため、各受信点に幅広く対応できます。
- 保守用途向けに入出力チャンネル可変型コンバーターユニットも別途用意しています。(周波数変換タイプ)



技術概要



地上デジタル放送波は470MHz～770MHzの周波数帯域で伝送されています。しかし、周波数帯域が90MHz～222MHzまでの狭帯域伝送路(施設)では、地上デジタル放送信号をそのまま流すことが出来ません。

そこで、屋外型OFDMマルチチャンネルプロセッサにより変換された信号を、ミッドバンド(周波数帯域108MHz～170MHz)帯域に伝送することにより、狭帯域伝送施設でも容易に地上デジタルテレビジョン放送を楽しむことが出来るようになります。VHF帯空チャンネルへの伝送も可能です。

- 連続した3チャンネルまでの放送波を1つのユニットで個別にレベル調整が可能であり、3大広域圏では3ユニットで全チャンネルの再送信が可能となります。
- 2系統の入力端子を備え、最大5つのユニットを実装することができるため、各地の放送プランにも幅広く対応できます。
- 筐体は防水構造のダイキャストケースを採用し、各種専用取付金具を用意しており屋内外問わず設置が可能です。

仕様

項目	SDM-50CPR-J		備考
	同一周波数タイプ	周波数変換タイプ	
入力信号	地上デジタルテレビジョンOFDM信号		
コンバーターユニット実装数	5 (最大)		
入力チャンネル (ch)	13~52	13~52	
出力チャンネル (ch)		C13~C22, VHF1~5 C13~C22, VHF1~12	
入力レベル (dBμV)	70±20		入力ATT併用
出力レベル (dBμV)	100		
入出力インピーダンス (Ω)	75 (入力F形、出力FT形コネクター)		入力FT-FJ使用
電源 (V)	AC30/60 (切替可能)、AC 100		いずれか指定
消費電力 (VA)	約16.1 ※1		チャンネルプラン：上記構成例 電源使用AC30V
寸法 (mm)	425.5W×288.5H×178.5D		AV30/60V 電源仕様
	435W×288.5H×178.5D		AC100V 電源仕様
質量 (kg)	13以下		5ユニット実装

※1 チャンネルプラン (コンバーターユニット数)、パススルー方式、機器電源仕様により異なります。



シンクレイヤ株式会社

〒460-0012 名古屋市中区千代田2丁目21番18号
 TEL (052) 242-7871(代) FAX (052) 238-5655
<https://www.synclayer.co.jp/>

東京支社 (03) 5625-0255(代) 三重営業所 (059) 228-8721(代) 広島営業所 (082) 273-7533(代)
 東北営業所 (022) 308-2630(代) 豊橋出張所 (0532) 75-8051(代) 九州支店 (092) 472-0520(代)
 中部支店 (052) 242-7891(代) 西日本支店 (06) 6322-3181(代)
 中部北陸営業所 (0574) 62-2131(代) 山陰営業所 (0859) 29-1854(代)

この記載内容は2021年4月現在のものです。記載内容は予告なく変更する場合があります。 2021.04

SDM-50CPR-J_B